

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<生命科学部バイオサイエンス学科> (認定課程：高一種免(農業))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	農業関連教科を学ぶための基礎を培うとともに、語学等を学び広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	前期に引き続いて生命科学の基礎を培い、広い教養を養う。加えて、分子生物学概論など専門分野の基礎を学び理解を深め、教育の基礎理論を習得する。
2年次	前期	生命科学に対して知識を深めるとともに、その応用例を学び、基盤を形成する。加えて、植物細胞工学、動物細胞工学等の専門科目により、農業教員として必要な知識を積み上げる。あわせて、教職概論、教育原理等の教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	前期に引き続き生命科学をより深く理解する。加えて、形成された基盤に基づき、生命科学について理論的に、また広い視野で考える能力を身に付ける。実験実習を通して生命科学に関する研究の実際を理解し、技術を習得する。農業高校教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3年次	前期	研究室に所属し、最新技術を用いた研究を開始する。そしてその技術を習得し、原理を理解する。農業高校教員として必要な指導法、学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	自らの研究テーマに関する情報の収集法を習得し、効果的な情報の活用法を理解する。実験を通して、論理的思考力を強化する。引き続き教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4年次	前期	研究テーマについて実験・調査を進める。教育実習により、教育現場の実際をよく理解する。大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	卒業論文作成、発表を通してプレゼンテーション能力を身につける。大学教育を通して培ったことを再確認し、教職者としての意識、自覚を持つ。